
第3章 保存管理、桜の更新及び復元

第1節 基本方針

名勝宮川堤は、桜並木の規模に鑑賞上の価値が高い。古くから桜の名所であり、近代以降の官民一体の保存、植樹活動により育まれた貴重な景勝地である。

また、松井孫右衛門人柱堤をはじめ、今に残る過去の治水の痕跡は、近世の土木遺産としても重要な要素である。

宮川堤は、行楽や治水といった人間活動と密接に関わりつつ形成され、維持管理されてきたことから、積極的かつ計画的な名勝構成要素の保存管理を行い、桜の更新及び復元を図るものである。